高等学校 令和８年度（２年次）教科　公民　科目 公共

教　科：公民　科　目：公共　単位数：2 単位

対象学年組：第 2 年次 A 組～ D 組

教科担当者：（A・B・C・D組：）

使用教科書：（ 実教出版『公共』 ）

教科　公民　の目標：

【知識及び技能】考察・選択・判断のための手掛かりとなる知識を理解し，諸資料から必要な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付ける。

【思考力、判断力、表現力等】社会の諸課題の解決に向けて，公正に判断する力や，主権者として社会に参画することを視野に入れながら自ら考え議論する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】よりよい社会の実現を視野に，社会の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養い，協力し合うことの大切さについての自覚を深める。

科目　公共　の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
現代社会の基本的な問題や知識に関して理解し，その知識を身に付ける。	現代社会の諸課題について，政治・経済，社会などさまざまな観点から主体的に考する力を養う。	多角的な視点から現代社会と自己との関わりに注目し，現代社会に対する興味・関心を高め、公民的資質を高める。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当時数
1学期	A 単元「社会を作る私たち」 【知識及び技能】自らの体験を振り返り自らの在り方生き方を理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】地域社会などの様々な集団の一員として他者と協働するということについて多面的・多角的に考察させる。 【学びに向かう力、人間性等】自立した主体になることが，自らのキャリア形成やよりよい社会の形成に結び付くことを理解させ、学習に向かう意欲を養う。	・指導事項 青年期とは 自己形成の課題 職業生活と社会参加 ・教材 教科書、資料集　等	【知識・技能】自らの体験などを振り返ることを通して，自らを成長させる人間としての在り方生き方について理解している。 【思考・判断・表現】地域社会などの様々な集団の一員として生き，国家・社会などの公共的な空間を作ることについて多面的・多角的に考察し，表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】よりよい社会の実現を視野に，多面的・多角的な考察や深い理解を通して，社会に参画する自立した主体についての自覚を深めようとしている。	○	○	○	4
	B 単元「民主国家における基本原理」 【知識及び技能】人間の尊厳と平等，個人の尊重，自由・権利と義務など，公共的な空間の基本的原理について理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】公共的な空間における基本的原理について，個人と社会との関わりから多面的・多角的に考察し，表現させる。 【学びに向かう力、人間性等】自分や他者の自由・権利について考え，各人の意見や利害を公平・公正に調整しようとする姿勢を養う。	・指導事項 民主政治の成立 民主政治の基本原理 民主政治の仕組みと課題 ・教材 教科書、資料集　等	【知識・技能】個人の尊重，民主主義，法の支配など，公共的な空間における基本的原理について理解している。 【思考・判断・表現】公共的な空間における基本的原理について，個人と社会との関わりにおいて多面的・多角的に考察し，表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】よりよい社会の実現を視野に考察や深い理解を通して，公共的な空間における基本的な原理について理解しようとしている。	○	○	○	8
	定期考査			○	○		1
	C 単元「日本国憲法の基本的性格」 【知識及び技能】法や規範に基づいて各人の意見や利害を公平・公正に調整することを通して，権利や自由が保障され，社会の秩序が形成されていくことを理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】我が国の安全保障と防衛などに関わる現実社会の事柄や課題を基に，日本国憲法の平和主義について考察させる。 【学びに向かう力、人間性等】自立した主体として解決が求められる具体的な主題を設定し，解決に向けて事実を基に協働する姿勢を身に付けさせる。	・指導事項 日本国憲法の成立 日本国憲法の基本原理 基本的人権 自由権,平等権,社会権,参政権 新しい人権 平和主義と防衛問題 ・教材 教科書、資料集　等	【知識・技能】憲法の下，法や規範に基づいて各人の意見や利害を公平・公正に調整することなどを通して，権利や自由が保障，実現され，社会の秩序が形成，維持されていくことについて理解している。 【思考・判断・表現】自立した主体として解決が求められる具体的な主題を設定し合意形成や社会参画を視野に入れながら，その主題の解決に向けて事実を基に協働して考察したり構想したりしたことを論拠をもって表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】法や規範の意義及び役割，我が国の安全保障と防衛などに関わる現実社会の事柄や課題といった現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。	○	○	○	10
	定期考査			○	○		1
2学期	D 単元「日本の政治機構と政治参加」 【知識及び技能】よりよい社会は意見や利害の対立状況を調整して合意を形成することを通して築かれるものであることについて理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】解決が求められる具体的な主題を設定し，その主題の解決に向けて事実を基に考察したことを論拠をもって表現させる。 【学びに向かう力、人間性等】選挙や政治に関心を深め，デジタル時代の選挙のあり方の課題を意欲的に解決しようとする姿勢を養う。	・指導事項 政治機構と国会 行政権と行政機能の拡大 公正な裁判の保障 地方自治と住民福祉 選挙制度と政治参加 ・教材 教科書、資料集　等	【知識・技能】よりよい社会は，憲法の下，個人が議論に参加し，意見や利害の対立状況を調整して合意を形成することなどを通して築かれるものであることについて理解している。 【思考・判断・表現】自立した主体として解決が求められる具体的な主題を設定し，合意形成や社会参画を視野に入れながら，その主題の解決に向けて事実を基に協働して考察している。 【主体的に学習に取り組む態度】司法参加の意義，政治参加と公正な世論の形成，地方自治などに関わる現実社会の事柄や課題といった現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。	○	○	○	14
	定期考査			○	○		1
	E 単元「現代の経済社会」 【知識及び技能】市場経済の機能と限界，金融の働きなどに関わる現実社会の事柄や課題を基に，公正かつ自由な経済活動を行うことを通して資源の効率的な配分が図られることを理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】資源の効率的な配分について，効率性と公平性の観点から多面的に考察させる。 【学びに向かう力、人間性等】雇用と労働問題，財政及び租税の役割，少子高齢社会における社会保障の充実・安定化などに関わる現実社会の事柄や課題といった現代の諸課題を主体的に解決しようとする力を養う。	・指導事項 経済主体と経済活動の意義 市場の仕組み 現代の企業 国民所得と経済成長 金融の役割と日本銀行 財政の役割と租税 日本の財政の課題 ・教材 教科書、資料集　等	【知識・技能】市場経済システムを機能させたり国民福祉の向上に寄与したりする役割を政府などが担っていること及びより活発な経済活動と個人の尊重を共に成り立たせることが必要であることについて理解している。 【思考・判断・表現】資源の効率的な配分について，効率性と公平性の観点から多面的に考察している。 【主体的に学習に取り組む態度】雇用と労働問題，財政及び租税の役割，少子高齢社会における社会保障の充実・安定化，市場経済の機能と限界，金融の働きなどに関わる現実社会の事柄や課題といった現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。	○	○	○	12
	定期考査			○	○		1
3学期	F 単元「日本経済の特質と国民生活」 【知識及び技能】国民福祉の向上に寄与したりする役割を政府などが担っていること及びより活発な経済活動と個人の尊重を共に成り立たせることが必要であることについて理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】現実社会の諸課題に関わる諸資料から，自立した主体として活動するために必要な情報を適切かつ効果的に収集し考察させる。 【学びに向かう力、人間性等】多様な契約及び消費者の権利と責任，職業選択，雇用と労働問題，少子高齢社会における社会保障の充実・安定化などに関わる現実社会の事柄を主体的に解決しようとする姿勢を養う。	・指導事項 戦後日本経済の成長と課題 経済社会の変化と中小企業 消費者問題 労働問題と労働者の権利 社会保障の役割と課題 ・教材 教科書、資料集　等	【知識・技能】市場経済システムを機能させたり国民福祉の向上に寄与したりする役割を政府などが担っていること及びより活発な経済活動と個人の尊重を共に成り立たせることが必要であることについて理解している。 【思考・判断・表現】人口減少社会が直面する経済的課題について協働的に考察したうえで，そのための経済政策を選択・判断し，表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】よりよい社会の実現を視野に，多面的・多角的な考察や深い理解を通して，多様な契約及び消費者の権利と責任，職業選択，雇用と労働問題，少子高齢社会における社会保障の充実・安定化などに関わる現実社会の事柄を主体的に解決しようとしている。	○	○	○	17
	定期考査			○	○		1
							合計 70